

# 令和7年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立野口北幼稚園
------	-------------

<b>1 教育目標</b>	心豊かに学びあい 育ち合うこどもの育成
---------------	---------------------

<b>2 基本方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな体験を通して、主体的に活動できるこどもを育てる</li> <li>基本的な生活習慣の確立を図る</li> <li>家庭・地域・小学校・中学校との連携を深め、開かれた幼稚園づくりの推進</li> <li>道徳・福祉・人権・食育・環境・防災・特別支援教育の充実</li> <li>教師の研修の充実(教師の指導力・専門性・危機管理能力の向上)を図る</li> </ul>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>3 指導目標</b>	<p>心も体も健やかで 明るい子 様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子 感じる心 考える力がある子</p> <p>思いやりがあり 心の優しい子 自分の思いを伝え 素直に表現する子</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

**評価基準**

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	自己評価(★成果 ※改善の方策)
基本的な生活習慣の確立	規則正しい生活を送ることができるようになったか	B	★親子でのあいさつ運動の実施により、朝のあいさつに恥ずかしさを感じていた幼児も、あいさつを返すようになったり、声も少しずつ大きくなった。 ★給食弁当での食育指導や掃除当番でトイレのスリッパの整理など、意識して指導することで習慣付いてきた。 ★身の回りの持ち物等の整理整頓は、言葉では伝わりにくい幼児も絵カードを表示し毎日繰り返すことで身に付いた。 ※それぞれ家庭の事情はあるが、就学に向けて徒歩での通園者が増えるような工夫が必要であった。また、登園時間を過ぎる幼児もおり、早寝早起きを促すとともに保護者へも啓発していく。
健康な心と体を育てる	体力づくりに取り組み、苦手なこともあきらめずに挑戦しようとしていたか。	B	★運動会で様々な遊具に挑戦したり、冬季にはチャレンジタイムを設けたりして、意欲的に運動遊びに取り組むことができた。竹馬・バカゴコ、縄跳び、コマ回しなど、幼児によって得手不得手はあるが、教師や保護者の励まし、友達同士の助け合いで前向きに取んだことが成功体験につながり、自信が付き、特に5歳は仲間関係が育った。 ※少し難しいことに取り組みにくい幼児もいるが、失敗を恐れずにチャレンジできる環境を再考したい。
豊かな体験を通して、主体的に活動することも育てる	自分から様々な人や、身近な自然と関わり、やってみようとする意欲がもてる保育内容であったか。	B	★自然や生き物に興味・関心がもてるように、時期を逃さず、その季節に応じた環境を配置したり、また、人と自然の博物館より講師を招聘し「エコロコ自然体験」を実施したりするなど、計画的に保育を進めることで、自ら関心をもって接する様子が見られ、幼児の興味が広がるきっかけとなった。 ※生き物を大切に扱い飼育する幼児もいるが、捕まえることに夢中になりお世話を友達任せにすることもあったので、生き物に愛情をもって世話をもって接することができるよう、命を感じられるように意識付けたい。
家庭や地域との連携	幼稚園教育への理解を深められるような情報発信を行い、家庭との連携を深めることができたか。	B	★幼児の遊びの様子だけでなく、保育のねらいや幼児の遊びの中での学び、その学びが、小学校の教科と結びついていることを、保護者や近隣の学校園・評議員の方へ「きたの通信」を通して幼児教育の理解へつなげた。 ※保護者・近隣の学校園・評議員の方などへは情報発信できたが、地域に向けて幼稚園教育の良さを発信し理解いただくための方法を工夫したい。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
親子であいさつ運動に取り組むことで、こども達も恥ずかしさが少なくなり、あいさつをすることの気持ちよさを感じることができたのではないかと思います。引き続きの運動を期待します。	A
苦手なことに挑戦する気持ちももてることはすばらしいと思います。できたことで自信がきます。さらなるこども達の成長に期待します。	A
生き物や植物などに触れて遊ぶことは、こども達の情操教育や命を大切にすることも繋がります。日常生活の中で身に付くように保育を進めてください。	A
地域行事への参加や地域にある施設の方との触れ合いを通して、普段、話をしない方とも関りをもつ機会があることは、地元への愛着や地域の人への信頼にも繋がります。幼稚園での取り組みを保護者や関係者だけでなく、地域の方へも発信方法を工夫してください。	B